

令和3年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	工業課	事業No.	204	
事務事業名		会計	一般会計			
		事業区分	政策	実施区分	継続	
		開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画		1	稼げ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる		
			2	飯田の魅力発信し、つながる人を増やし、飯田市への人の流れをつくる		
	分野別計画	地域経済活性化プログラム				
		長野県南信州地域における基本計画(地域未来投資促進法)				
法令・例規等	地域再生法、地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律、中小企業等経営強化法					
	飯田市サテライトオフィス等開設支援補助金交付要綱					
	飯田市企業立地(振興)促進事業補助金交付要綱					
事業目的		対象	新規に立地・設備投資したい企業、拡張・設備投資したい既存企業			
		意図	立地企業や既存企業の拡張を支援することで、雇用の拡大を図る			

2 事業内容

3年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)
	新型コロナウイルス感染症の影響により産業用地の問い合わせ、市内企業の拡張等への相談は減少していましたが、1月以降問い合わせが増加し、飯田市企業立地(振興)促進事業補助金に加え、先端設備導入計画の支援の周知を行い98件の計画認定を行いました。 コロナ禍による企業訪問及び企業懇話会の中止の影響はありましたが、長野県おためし立地チャレンジナガノへの参加や、地方創生テレワーク交付金を活用したエス・パードの機能拡張と企業とのマッチングイベントへの参加を行い、WEBミーティング等の活用によるサテライトオフィス誘致に取り組んだ結果、2社の事務所開設につながりました。		補助金交付額(企業立地促進事業)				59,080
			調査業務及び企業誘致活動費				915
			地方創生テレワーク事業(施設整備)				13,493
			地方創生テレワーク事業(誘致支援業務)				6,655
			地方創生テレワーク事業(補助金交付)				1,000
その他の経費				0			
活動指標	指標名(数値で表せる活動量)	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	
	企業立地(振興)促進事業交付件数	件	6	10			
	市外企業への訪問件数	件	20	1			
	WEBによる折衝回数	件	12	97			
3年度決算(千円)	予算額	84,949	特定財源内訳及び補正事項				
	決算額	81,143	(国)地方創生テレワーク交付金(3/4) 15,862千円				
	財源の状況	国庫支出金	20,092	(国)新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(10/10) 4,230千円			
		県支出金	0				
		地方債	0				
		その他	0				
一般財源	61,051						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	5	11	1	59,525	59,080	企業立地促進事業補助金
2	1	7	1	5	12	2	25,424	22,063	企業誘致推進事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		アフターコロナを見据えた需要回復の状況から拡張や設備投資を検討する企業が増えてきており、国の支援制度の見直しの動き等に注視する必要があります。一方でサテライトオフィス等開設支援補助金により県外からの誘致の成果があったものの、おためし利用の補助実績がなかったため、事業所開設につながる前段での関係構築のためにも、企業支援制度の見直しが必要となっています。							
上記の課題解決のための有効策		時代の変革を捉え、地域で必要とされる企業像の明確化とターゲットを絞った誘致活動を行うことが効果的です。また、企業ニーズにあった支援制度の検討及び企業への情報提供が必要であり、市内外企業に向け計画的な訪問活動を実施するほか、県外企業と市内企業とが交流する機会を創出し、企業間連携から誘致活動に繋げる取組が効果的です。							
次年度に向けての取り組み		地域外からの企業の立地及び既存企業の拡張・設備投資への支援とワンストップによる相談体制をさらに強化します。地域の強みであるエス・パードの機能(産業振興策等)を活かしながら、コロナ禍における地方移転の動きをとらえた本社機能やサテライトオフィスをはじめ、企業・研究機関等の誘致に向けた受け皿づくりと誘致活動の推進に取り組めます。							